

遺跡から出土した万年筆
—南風原町文化センター収蔵資料を中心に—
補足資料

地域文化研究科 南島文化専攻
先史・歴史文化領域
平良和輝

修士論文要旨

近現代の文房具の中から県内で出土した万年筆を対象に産業・技術史的研究又はその形式・型式学的考察をおこなうための基礎的研究をし、文房具研究の拡充とその課題を見出すことを目的とし、万年筆の歴史を概観しつつ、南風原文化センター収蔵の万年筆を中心に考察をおこなった。

万年筆は収集家や民俗学的見地からの研究はあるが、考古学的研究は殆どみられない。民俗学的研究は万年筆専門店や万年筆収集家や職人の来歴について記し、収集家の研究では歴史やパーツを分解し年代別に分類したものが確認できた。本稿で記す万年筆の歴史は今回実見した資料の殆どが沖縄戦に関する戦争遺跡から出土したものであったため、1940年代以前の国内・海外のメーカー・ブランドを選択し、南風原文化センター収蔵の万年筆をペン先、軸、キャップに大別し、それらの法量や材質、構造、出土遺跡を記録することに努めた。結果、ペン体や胴軸、クリップにメーカー・ブランド名を記されているのが確認でき、現存する大手3社（パイロット、セーラー、プラチナ）の製品だけでなく、多種多様なメーカー・ブランドを窺い知れるが、その多くは国産品であり、海外メーカー・ブランドの製品は少ないことが分かった。中には現在存在しないメーカー・ブランドの製品も含まれている。また年代幅としてはペン先から明治～大正期の製品はではなく、昭和初期以降の製造されたモデルが多いと思われる。今回調べた万年筆の形状はメーカー・ブランド別に特に大きな差や特徴がみられるわけではなく、その出自を判断するには刻印が効果的且つ重要であることもわかった。

今後の研究課題として、万年筆は使用者の書き癖により状態も変化し、人への貸し借りがあまり行われないう筆記具である特徴を生かし、ペン先の使用痕などから過去の使用者へより踏み込んだ認知考古学的アプローチと、出土遺跡（壕）とそこにいた人々・部隊を交えた総合的な分析が挙げられる。

表 南風原文化センター収蔵万年筆基本データ①

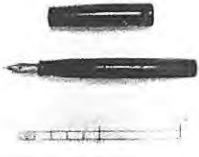
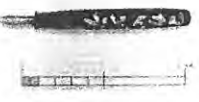




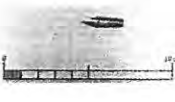
遺物No	写真	出土遺跡名	調査年度	出土遺跡所在	遺跡主要年代	出土地点	性び遺跡の性格及 出土地点の性格及	状態	法量	
									全長(残存長) ^{mm}	全重量(??)
1		新垣壕	?	糸満市新垣	沖縄戦		戦跡(壕)	ほぼ完形	13.2	17
2		真壁壕	1994	糸満市真壁	沖縄戦		戦跡(壕)	キャップ、ペン芯無し	12	8
3		真壁壕	1994	糸満市真壁	沖縄戦		戦跡(壕)	ほぼ完形	13.5	16
4		津嘉山北地区旧日本軍壕	2009	南風原町	沖縄戦	D-1壕	戦跡(壕)	キャップ、胴・尻軸無し	4.2	2
5		津嘉山北地区旧日本軍壕	2009	南風原町	沖縄戦	D-1壕	戦跡(壕)	ペン体のみ	2.8	測定不
6		津嘉山北地区旧日本軍壕	2009	南風原町	沖縄戦	D-1壕	戦跡(壕)	キャップのみ	4.9	5
7		津嘉山北地区旧日本軍壕	2009	南風原町	沖縄戦	D壕	戦跡(壕)	ペン体のみ	2.5	測定不

表 南風原文化センター収蔵万年筆基本データ②

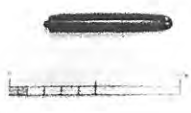
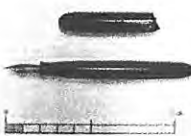
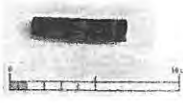





8		津嘉山北 地区旧日 本軍壕	2009	南風原町	沖縄戦	D壕	戦跡(壕)	キャップ、 ペン先、ほ とんどの首 軸無し	7.5	6
9		津嘉山北 地区旧日 本軍壕	2009	南風原町	沖縄戦	D壕	戦跡(壕)	ほぼ完形	12.6	12
10		津嘉山北 地区旧日 本軍壕	2006	南風原町	沖縄戦	B壕	戦跡(壕)	キャップの み	5.3	3
11		田原壕	?		沖縄戦		戦跡(壕)	ほぼ完形	13.5	13
12		白梅の塔 壕	1994		沖縄戦		戦跡(壕)	ほぼ完形	13.4	18
13		?	?	?				ほぼ完形	13.6	15
14		?	?	?				ほぼ完形	11.9+	11
15		新垣病院 壕	?	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)		6.5+	8

表 南風原文化センター収蔵万年筆基本データ③

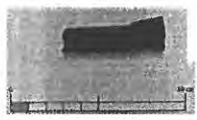


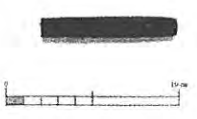


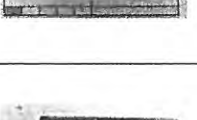
16		?	?	?				キャップ、 ペン先の み	5.8+	6
17		新垣病院 壕	1994	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	軸とキャ ップの一 部	7.5+	6
18		?	?	?				胴・尻軸 のみ	8.3+	9
19		新垣壕	1995	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	軸のみ	7.2+	8
20		新垣病院 壕	1994	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	胴・尻軸 のみ	7.7+	7
21		?	?	?				胴・尻軸 のみ	7.6+	7
22		新垣壕	1995	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	軸のみ	7.9+	6

表 南風原文化センター収蔵万年筆基本データ④









23		津嘉山北 地区旧日 本軍壕	2006	南風原町	沖縄戦	I壕	戦跡(壕)	ほぼ完形	13.5	16
24		津嘉山北 地区旧日 本軍壕	2006	南風原町	沖縄戦	I壕	戦跡(壕)	軸片か キャップ片	2.8、2.1+	
25		津嘉山北 地区旧日 本軍壕	2006	南風原町	沖縄戦	I壕	戦跡(壕)	軸のみ	4.9+	
26		新垣病院 壕	1995	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	キャップな し	11.8+	9
27		新垣壕	?	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	ほぼ完形	13	15
28		新垣病院 壕	1994	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	尻軸欠損	10.6+	11
29		新垣病院 壕	1994	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	完形	12.5	13
30		新垣壕	1995	糸満市新 垣	沖縄戦		戦跡(壕)	ほぼ完形	13.1	15

表 南風原文化センター収蔵万年筆基本データ⑤



















31		新垣塚	1995	糸満市新垣	沖縄戦		戦跡(塚)	ペン先と胴軸途中	8.4+	3
32		新垣塚	?	糸満市新垣	沖縄戦		戦跡(塚)	胴軸と尻軸のみ	7.8+	7
33		?	?	?				ねじ切りから尻軸まで	8.4+	8+
34		新垣塚	1995	糸満市新垣	沖縄戦		戦跡(塚)	ほぼ完形	12	12
35		新垣塚	1995	糸満市新垣	沖縄戦		戦跡(塚)	キャップのみ	5.75+	4+
36		津嘉山鍛冶屋敷跡	1991	南風原町			屋敷跡	軸のみ	8.35+	4+
37		黄金森20号	2006	南風原町	沖縄戦	グリッド	戦跡(塚)	完形	14	22
38		黄金森20号	2006	南風原町	沖縄戦	グリッド	戦跡(塚)	胴軸と尻軸のみ	7.5+	4+

表 南風原文化センター収蔵万年筆基本データ⑥

39		黄金森20号	2006	南風原町	沖縄戦	グリッド	戦跡(壕)	キャップの中にニブが残存	5.6+	3+
40		黄金森20号	2006	南風原町	沖縄戦	グリッド	戦跡(壕)	胴軸と尻軸のみ	7.6+	8+
41		喜屋武シジ	1994	南風原町	沖縄戦			完形	12.8	13
42		喜屋武シジ	1994	南風原町	沖縄戦			ほぼ完形	13.1	14
43		喜屋武シジ	1994	南風原町	沖縄戦			ペン芯のみ	2.9+	
44		クニードー 津嘉山農 協駐車場 西斜面二 男前門壕	1997	南風原町	沖縄戦			ほぼ完形	11.2+	8+
45		喜屋武岬 壕	1994	糸満市	沖縄戦			キャップなし	12.15+	11+
46		黄金森20号	2006	南風原町	沖縄戦	5グリッド		完形	12.8	13
47		?	?	?				ほぼ完形	12.7	13
48		?	?	?				キャップなし	9.8+	9+

修士論文参考・引用文献

赤堀正俊 監修

2008『万年筆を極める』かんき出版

石上七鞆

1993「万年筆の歴史と手作り職人」阿部正路博士還暦記念論文集刊行会編『日本文学の伝統と創造』教育出版センター 692-705

1996「万年筆の歴史と手作り職人Ⅱ」東京女学館短期大学編『東京女学館短期大学紀要』第18輯 東京女学館短期大学 21-29

1999「万年筆の歴史と手作り職人Ⅲ」東京女学館短期大学編『東京女学館短期大学紀要』第22輯 東京女学館短期大学 31-48

浦添市教育委員会 編

2011『前田・経塚近世墓群 2 首里大名地区』浦添市文化財調査報告書 浦添市教育委員会 上地克哉

2013「日本軍の装備品」南風原町史編集委員会 編『戦世の南風原—語る のこす つなぐ—』沖縄県南風原町

112-119

沖縄県立埋蔵文化財センター 編

2001『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅰ）—南部編—』沖縄県立埋蔵文化財センター

2002『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅱ）—中部編—』沖縄県立埋蔵文化財センター

2003『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅲ）—北部編—』沖縄県立埋蔵文化財センター

2004『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅳ）—本島周辺離島及び那覇市編—』沖縄県立埋蔵文化財センター

2005『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅴ）—宮古諸島地区編—』沖縄県立埋蔵文化財センター

2006『沖縄県戦争遺跡詳細分布調査（Ⅵ）—八重山諸島編—』沖縄県立埋蔵文化財センター

桐山 勝

2011『万年筆国産化 100 年』三五館

清水茂樹 編

2008『PEN BRAND 世界の万年筆ブランド』榎出版社

2011a『趣味の文具箱』vol.19 榎出版社

2011b『趣味の文具箱』vol.21 榎出版社

2012a『趣味の文具箱』vol.22 榎出版社

2012b『趣味の文具箱』vol.24 榎出版社

2013a『趣味の文具箱』vol.25 榎出版社

2013b『趣味の文具箱』vol.26 榎出版社

2013c『趣味の文具箱』vol.27 榎出版社

2013d『趣味の文具箱』vol.28 榎出版社

2014a『趣味の文具箱』vol.29 榎出版社

2014b『趣味の文具箱』vol.30 榎出版社

2014c『趣味の文具箱』vol.31 榎出版社

小池淳一

2008 「ペン先を研ぐー現代の万年筆職人ー」 国立歴史民俗博物館編 『歴博』第148号
財団法人歴史民俗博物館振興会 16-19

2012 「国産万年筆研究の課題」国立歴史民俗博物館編 『国立歴史民俗博物館研究報告』
第170集 国立歴史民俗博物館 1-18

すなみまさみち・古山浩一

2007『万年筆クロニクル』榎出版社

セーラー万年筆株式会社宣伝課 編

1961『セーラー50年抄史』セーラー万年筆株式会社宣伝課
渡口彦一

1983『万年筆と共に歩んだ50年』渡口万年筆店
南風原町教育委員会 編

1993『南風原町の遺跡ー町内遺跡発掘(詳細分布)調査報告書ー』南風原町文化財調査
報告書第1集 南風原町教育委員会

2000『南風原陸軍病院壕群Ⅰー沖縄県南風原町所在南風原陸軍病院壕群の考古学的調査報
告書Ⅰー』南風原町文化財調査報告書第3集 沖縄県南風原町教育委員会

2005『クニンドー遺跡(Ⅱ)ー個人住宅建設にかかる埋蔵文化財緊急発掘調査報告書ー』
南風原町文化財調査報告書第5集 南風原町教育委員会

2008a『南風原陸軍病院壕群Ⅱー沖縄県南風原町所在南風原陸軍病院壕群の考古学的調査
報告書Ⅱー』南風原町文化財調査報告書 第6集、沖縄県南風原町教育委員会

2008b『第三二軍司令部津嘉山壕群 津嘉山北地区旧日本軍壕群ー国道507号(津嘉山地区)
改良工事と津嘉山北土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書ー』南風原町文化
財調査報告書 第7集 南風原町教育委員会

2010『津嘉山北地区旧日本軍壕群Ⅱー津嘉山北地区区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調
査報告書ー』南風原町文化財調査報告書第8集 南風原町教育委員会
南風原町史編集委員会 編

2002『むかし南風原は 南風原町史 第5巻 考古編』沖縄県南風原町役場
2013『戦世の南風原ー語るのこすつなぐー』沖縄県南風原町

早川智子 編

2011『大人の文房具』晋遊舎
パイロット万年筆株式会社社史編集委員会 編

1979『パイロットの航跡 文化を担って 60 年』パイロット万年筆株式会社 丸善株式会社
編

丸善 編

1936『丸善文房具事務用品型録』丸善

茂木悠子・渡辺麻里 編

2009『日本文具資料館コレクションからみる 文具・人・文化』日本文具資料館

森 睦

2013a「万年筆解剖講座 第 1 回」清水茂樹 編『趣味の文具箱』vol.26 樫出版社 106-109

2013b「万年筆解剖講座 第 2 回」清水茂樹 編『趣味の文具箱』vol.27 樫出版社 64-67

2013c「万年筆解剖講座 第 3 回」清水茂樹 編『趣味の文具箱』vol.28 樫出版社 82-85

2014「万年筆解剖講座 第 4 回」清水茂樹 編『趣味の文具箱』vol.29 樫出版社 82-85

琉球新報社 編

琉球新報朝刊 1983.9.29 戦禍を掘る 出会いの十字路「31 新垣の壕（上）」

琉球新報朝刊 1983.9.30 戦禍を掘る 出会いの十字路「32 新垣の壕（中）」

琉球新報朝刊 1983.10.3 戦禍を掘る 出会いの十字路「33 新垣の壕（下）」

参考サイト

プラチナ万年筆株式会社

「沿革」http://www.platinum-pen.co.jp/company_history_top.html（2015 年 1 月 13 日アクセス）

セーラー万年筆株式会社

「セーラー万年筆 100 年の流れ」<http://www.sailor.co.jp/100years/100years02>（2015 年 1 月 16 日アクセス）